

フブ・服部の中国通信

カブトガニを喰らう！

朝晩の気温が下がり始め、秋らしくなってきましたがいかがお過ごしでしょうか？
フブ・服部でございます。

今月は久方ぶりに福建へ行ってきました。福建に行くようになって六年になりますが、まだまだ新しい体験があります。本当に面白い国です、中国。

(新しい体験その1)

カブトガニを食しました。生きた化石として有名なカブトガニは、日本では天然記念物ですが、中国、東南アジアでは結構普通に食材として食べられています。今回も崇武の物好きがオモシロ半分に「これ食おう！」・・・とのたまい、私もつい好奇心から「OK！」してしまいましたが・・・



↑これを食べます。もちろん日本で食べるのはもっての外、中国では普通に生け簀を泳いでいるとは言え日本国民の端くれとして良心がチクチク・・・
中国での食材名は「海怪」、読んで字のごとく海の怪物です。



カブトガニ調理後・・・
良かった原型留めてない(笑)

いざ実食！

・・・うん、甲殻類の味はしますね、しかし食べるどころ少ないな・・・
クセも強くかなり好みの別れる味です。後日調べてみたところ、カブトガニはカニよりもクモに近い生き物なのだとか。そう考えれば「海怪」というネーミングも納得。もし、ご興味のある方がいらっしゃいましたらぜひトライしてみてくださいませ。

ただし日本のカブトガニを捕獲して食するのはご勘弁を（笑）

クセの強い味のためか最終的には少し残ってしまい。件の崇武の物好きにお持ち帰りいただきましたが、後日最後まで美味しくいただいたとの事です。

中国では食材のロスを減らす一環として食べ残しをお持ち帰りすることが一般的で、大体どのレストランに言ってもお持ち帰り用の容器が常備されています。食品衛生法が厳しいので、日本でお持ち帰りはあまり店側に良い顔をされないと思いますが、これもひとつのエコですね。



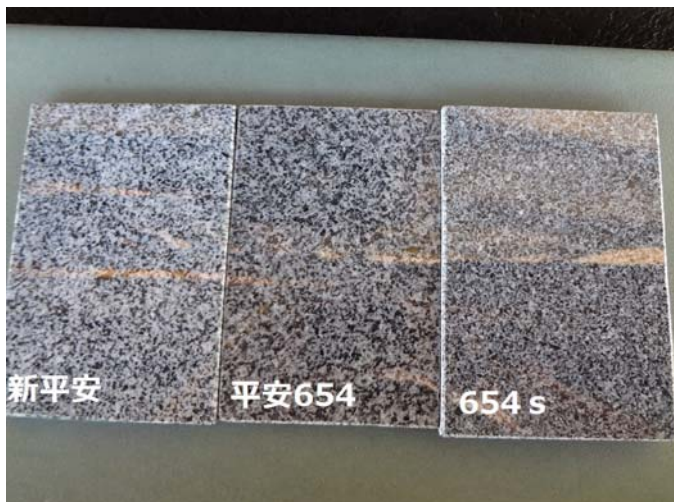
食事をしたレストランにて、勤務中の現地伝統衣装美女とツーショット。上司に撮ってもらった手前使用しますが、なにぶんシャイな性格なものでこのくらいでご勘弁下さい。

ちなみにこんな高級店にはお客様が一緒でない限り行きません、行けません。ここがどこかピンと来てしまう崇武通の方に「日本石材センターはこんな店ばかり行ってるのか！」と思われると困るので念のため（笑）

仕事のお話も少し

↑のような話ばかりをしていますが決して遊びに行っているわけではありません、信じて下さい（汗）
今、平安654の石が逼迫しておりますが、現状弊社の主要取引工場にて豊富に在庫をかかえている先がありますので、しばらくはご安心下さい。

また、保険のための代替石種も開発中です。



- ・新平安（写真左）：平安654薄手といった印象。目は近いです。原石上の特性も平安654と似ており、難も少ないです。
- ・654S：平安654とは少し離れますが、こちらは山の状態が良いです。現地にも行ってきましたが、現在ムラの少ない層に当たっており、平安654ユーザーだけでなく中間色細目の石を好まれる市場でお勧めです。

価格に関しては平安654と似たような価格帯ですが、詳しくは弊社営業員までお問い合わせ下さい。

最近、中国の石丁場もリバイバルブームです。売れ行きが良くないから停産した、オーナー都合で採掘をやめた、という丁場が再開し始めたり、もともと建材で使用していたが状態が良いので墓石にも、といった情報が結構出てきます、引き続きアンテナを張り商材の新規、掘り起しには力を入れてまいりますので、どうぞご臍尻に、よろしく願いいたします。

それではここまでお付き合いいただきありがとうございました。
また来月もネタを仕込んでおきますので、よろしくお付き合い下さいませ。

フブ・服部

（追伸）

先月サビ実験の中間報告を入れたところ、「酢に浸けるともっと早く状況わかるよ」というご意見をいただきました。ご指摘ありがとうございます。現在試しておりますので続報お待ち下さい。